

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

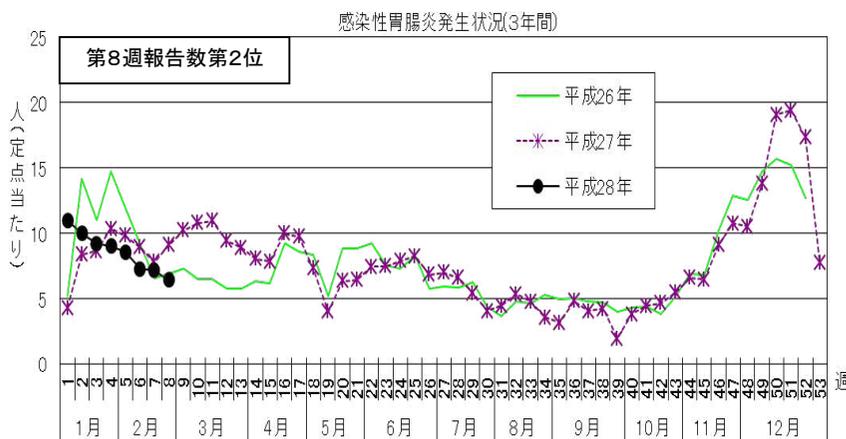
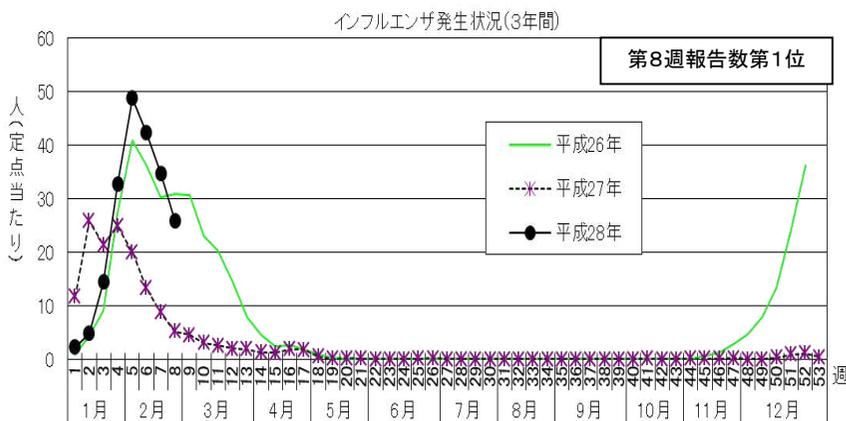
平成28年2月22日（月）～平成28年2月28日（日）〔第8週〕の感染症発生状況

第8週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は25.91人と前週（34.78人）から減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.42人と前週（7.15人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.45人と前週（3.33人）からやや減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。



『子ども予防接種週間』3月1日(火)～3月7日(月)

3月1日（火）～3月7日（月）は「子ども予防接種週間」です。4月からの入園・入学に備えて、必要な予防接種をすませ、病気を未然に防ぎましょう。この機会に母子健康手帳で予防接種歴を確認してください。

全ての疾患に対してワクチンがあるわけではありませんが、小児を中心に流行する数多くの疾患はワクチンで予防することができます。母子健康手帳を再度確認して、この機会に必ず接種を受けましょう。

小児の定期予防接種のワクチン一覧

- BCG
- ジフテリア、百日せき、ポリオ、破傷風（1期：DPT-IPV）（2期：DT）
- 麻しん・風しん（MR）
- 水痘（水ぼうそう）
- 日本脳炎
- Hib 感染症（ヒブワクチン）
- 小児の肺炎球菌感染症（小児用肺炎球菌ワクチン）
- ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防ワクチン）

「麻しん風しん第2期」対象者は、3月31日までが無料で受けられる期間です。小学校入学前に忘れずに受けるようにしましょう。

